

2020年3月期 決算説明 資料

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



株式会社 浅沼組

証券コード：1852

この資料には、弊社の業績予測並びに将来の見通しに関する記述がございます。
これらの記述は、現在入手可能な情報及び将来に影響を与える不確実な要因に係る仮定に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく記載と異なる結果になる可能性があります。

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



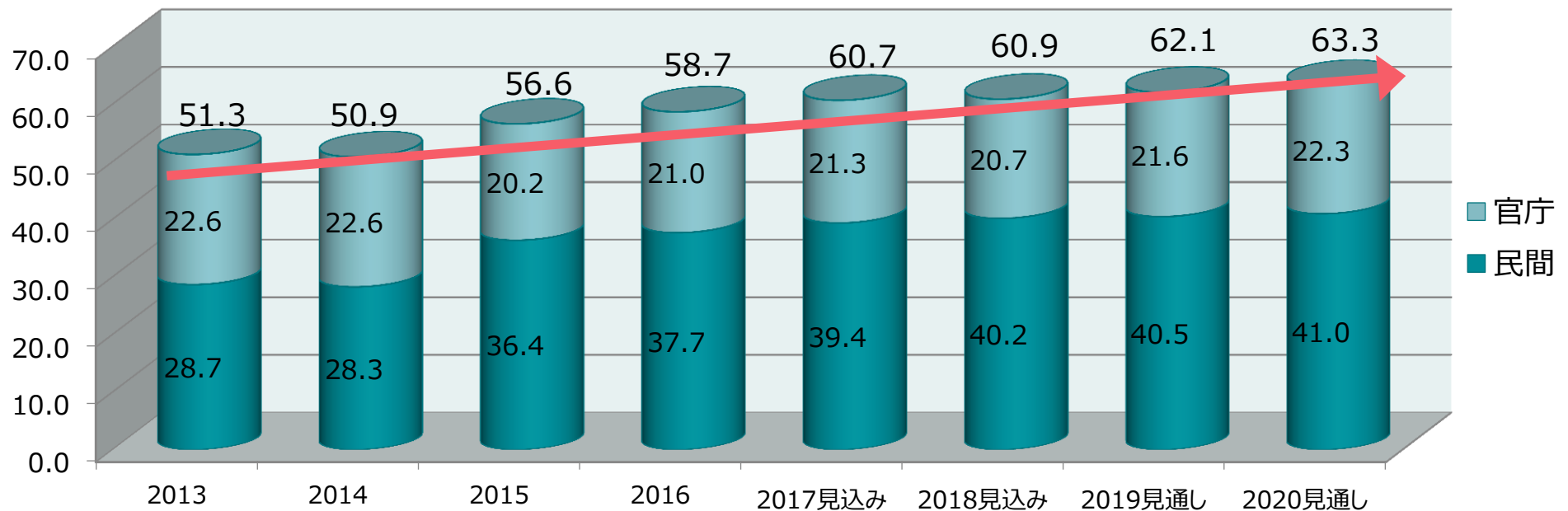
ページ	項 目
P 3	取り巻く事業環境
P 4～	中期3ヵ年計画 連結業績進捗状況
P 6～	中期3ヵ年計画 資金投入計画
P 14	株主還元 配当性向計画
P 15	コーポレート・ガバナンス体制
P 16～	社会貢献活動
P 18	トピックス

建設業

2019年度においては、民間建設投資は住宅の伸び悩みがあったものの、設備投資の緩やかな増加が見られ堅調に推移し、公共建設投資も引き続き高水準を維持し、年度末近くからの新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化が起こるまでは良好な事業環境でありました。今後は新型コロナウイルス感染症の影響が長引くようであれば、設備投資の先送りや抑制などによる建設投資の減少が懸念されます。

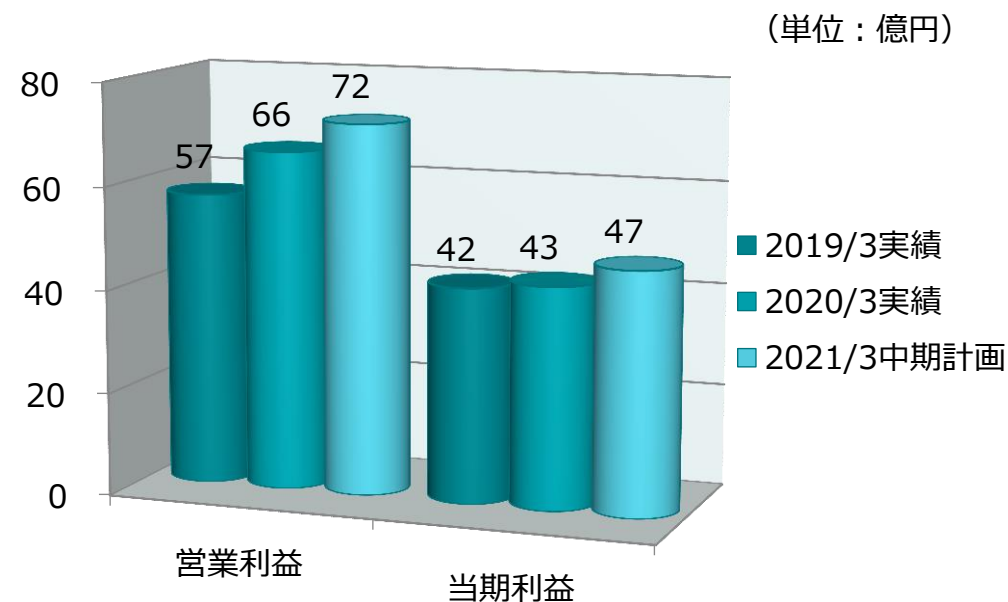
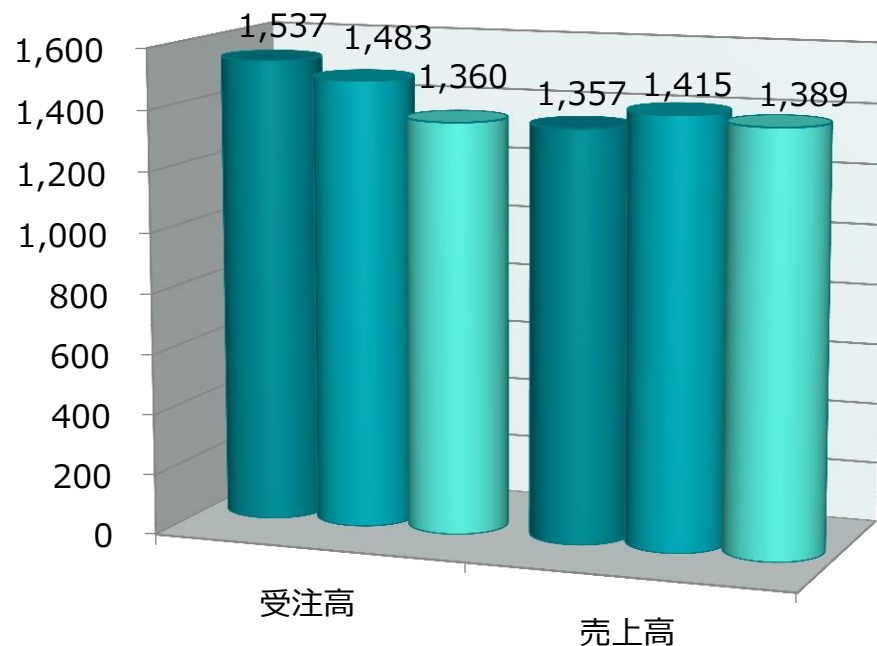
建設投資の推移

単位：兆円



(一財) 建設経済研究所より

中期3カ年計画 連結業績進捗状況 ①



	2019/3 中期計画	2019/3 実績	2020/3 中期計画	2020/3 計画	2020/3 実績	2021/3 中期計画	2021/3 計画
受注高	1,300	1,537	1,330	1,343	1,483	1,360	未定
売上高	1,295	1,357	1,366	1,347	1,415	1,389	未定
営業利益	49	57	62	63	66	72	未定
親会社株主に帰属する 当期純利益	32	42	40	42	43	47	未定

(中期計画の数値は、2018/5/11発表時点)

中期3カ年計画 連結業績進捗状況 ②



	2019/3 中期計画	2019/3 実績	2020/3 中期計画	2020/3 計画	2020/3 実績	2021/3 中期計画	2021/3 計画
営業利益率	3.8%	4.2%	4.6%	4.7%	4.7%	5.2%	未定
投下資本利益率 (ROIC)	7.0%	8.1%	8.4%	8.4%	9.1%	9.2%	未定
自己資本利益率 (ROE)	9.0%	11.5%	10.6%	10.6%	11.3%	11.4%	未定
自己資本比率	36.0%	36.6%	41.0%	41.0%	38.0%	47.0%	未定
資本コスト (WACC)	5.0%	5.1%	5.0%	5.1%	6.0%	5.0%	未定

(中期計画の数値は、2018/5/11発表時点)

	2020/3期
支払利息(百万円)	118
有利子負債(百万円)	11,364
負債コスト	1.04%
10年国債利回り	0.031%
β値	1.147
市場期待利回り	7.00%
株主資本コスト	8.02%
時価総額(百万円)	30,420
税率	30.4%
資本コスト (WACC : 加重平均資本コスト)	6.04%

* 2020/3末時点
(除く自己株式)

3年間で **200億円** の資金投入

■ 投資計画

◆技術・システム関連等への投資

50億円

◆コンセッションおよび海外事業強化（M&A等）に向けた投資

50億円

■ 使途計画

◆協力会社との連携強化を目的とした支払いの現金化

100億円

■ 資金投入実績 2019年3月期～2020年3月期

約150億円

技術研究所 増築、改修（2019年3月末オープン）

特 徴	・リニューアル分野では関西圏でトップクラスの設備 ・関西圏の大学および公的試験所との連携
改 修 関 連	・研修・会議エリアを設置し、若手社員や協力会社の技術者の研修、体験型教育の実施 ・試験機器の更新
増 築 関 連	・地震モニタリングシステムの設置 ・多目的実験スペースの設置



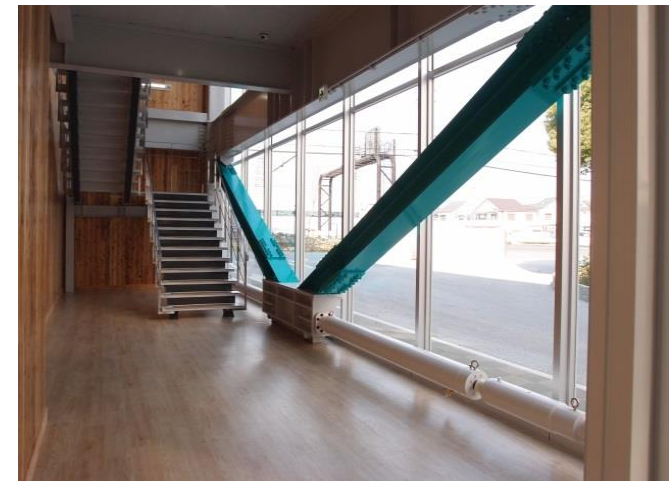
増築棟と自然光照明を用いた多目的実験スペース



増築棟



全景



制震ダンパー

リニューアルブランディング計画

差別化、強化、深化を推進するために
リニューアル技術のブランディング化により、
市場認知を獲得し、事業機会の創出に
つなげるための準備を進めています。



展示会の様子

新技術・工法への積極的な取り組み推進

特殊積層繊維シートを開発しました。 阪神高速道路(株)・(株)ケー・エフ・シー 共同開発

従来工法では複数層の施工が必要となる補強効果を1層で可能とする画期的な工法で、コンクリートだけでなく、鋼構造物、建築物等にも適用できます。

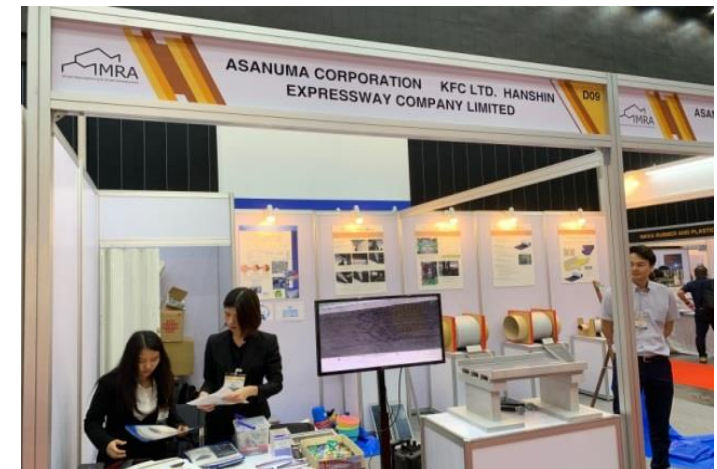
【特長】

- 1) 高い作業効率：当使用材料は軽量なため、高所でも簡易な足場で施工でき、短工期で施工が容易。
- 2) 高品質：高性能含浸剤で含浸ムラの発生がなく高品質の補強が可能。
- 3) 低コスト：材料コストが低く、施工が容易であり作業時間短縮が図れるため低コスト。
- 4) 強度に応じた材料の選択：含浸剤や補強繊維は補強の必要強度に応じて選定が可能。

現在この技術は、タイ王国での実用化に向け準備を進めています。



このJICAの事業は、SDGsのゴール9に当てはまり、強靱なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進に貢献しています。

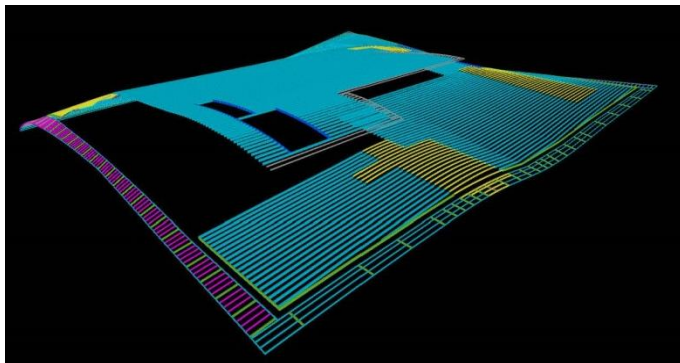


タイ王国バンコクでの展示会の様子

BIM・CIM活用

業務の効率化のために平面を立体化するBIMやCIMを積極的に導入しています。
設計、施工計画、施工管理段階での活用を推進しています。

○複雑な天井を有する建物の天井取り付けの施工手順や施工性の確認に使用

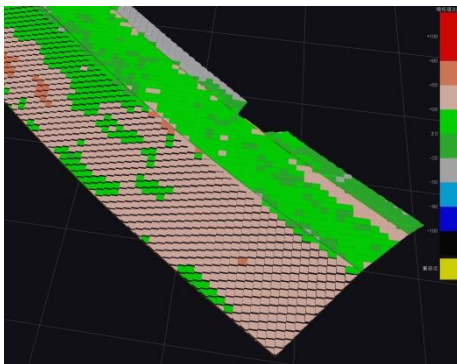


BIMによる天井図



完成

○レーザースキャナを用いて測量し、データ処理を行い工期の短縮化、コストダウンに効果



測量データを3D化



完成

VR技術活用による学習システムの開発

3DモデルやVRを用いた体験型現場教育システムを開発しました。

【特長】

- 1) 作業工程を3D映像化することで、建設の流れを容易に掴むことができます。
- 2) 3Dバーチャル現場のウォークスルー体験により、様々な現場を短期間で体験できます。
- 3) クイズ形式の演習と解説により、知識としての品質および安全管理等（QCDSE）の学習が可能です。



マンション住戸内装仕上げ



配筋作業



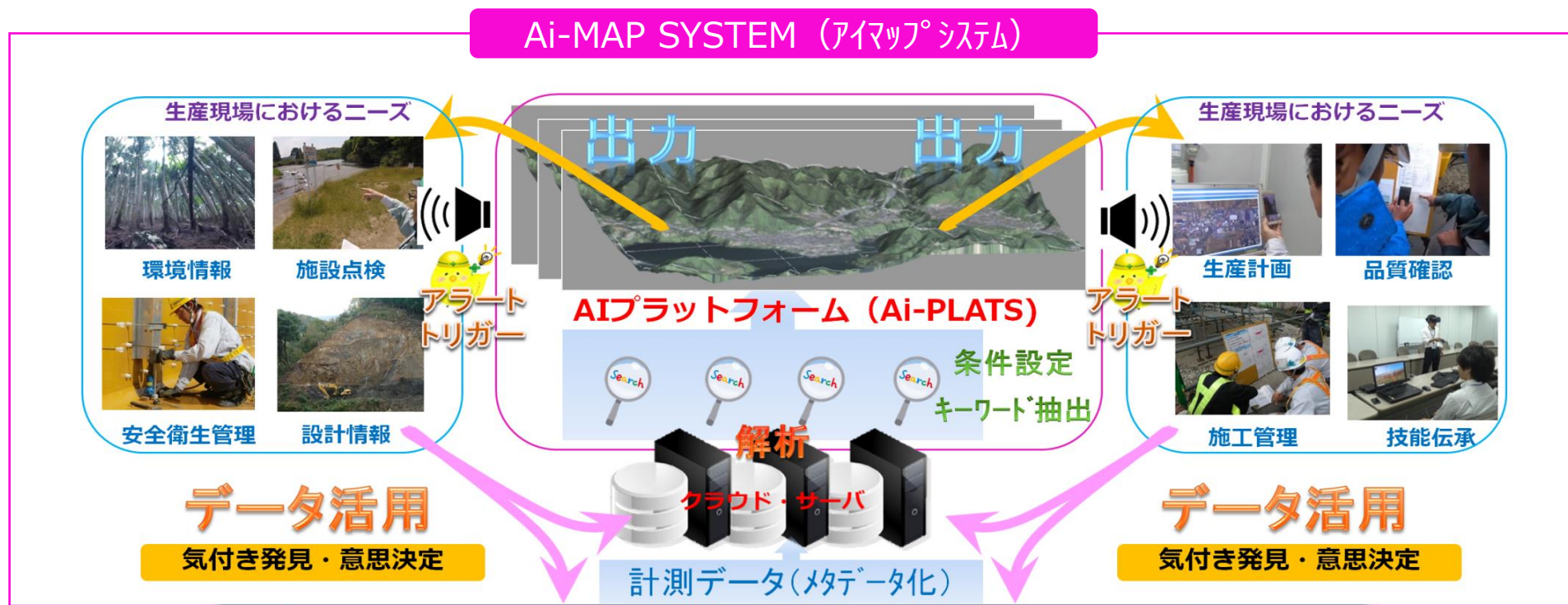
高速跨道橋橋脚補修

熟練技能維持システムの開発

熟練工の技術・経験（カン・コツ）を見える化システムを開発しました。

熟練工の動きや目線のデータをクラウド・サーバーに集約し、現場でそのデータを抽出することで実際の作業に生かすことができます。

アイマップシステムは複数のシステムから成り立っており、その組み合わせにより、より効果的な対応が可能となっており、災害時の通信手段にも応用が可能で、更なる生産効率の向上を目指し、開発を進めていきます。



◆海外事業 強化

名 称	SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	建物塗装・修繕工事請負業
議 決 権 所 有 割 合	2018年10月 80% 株式取得 2023年10月 20% 株式取得
買 収 理 由	アセアン地域でのリニューアル事業展開

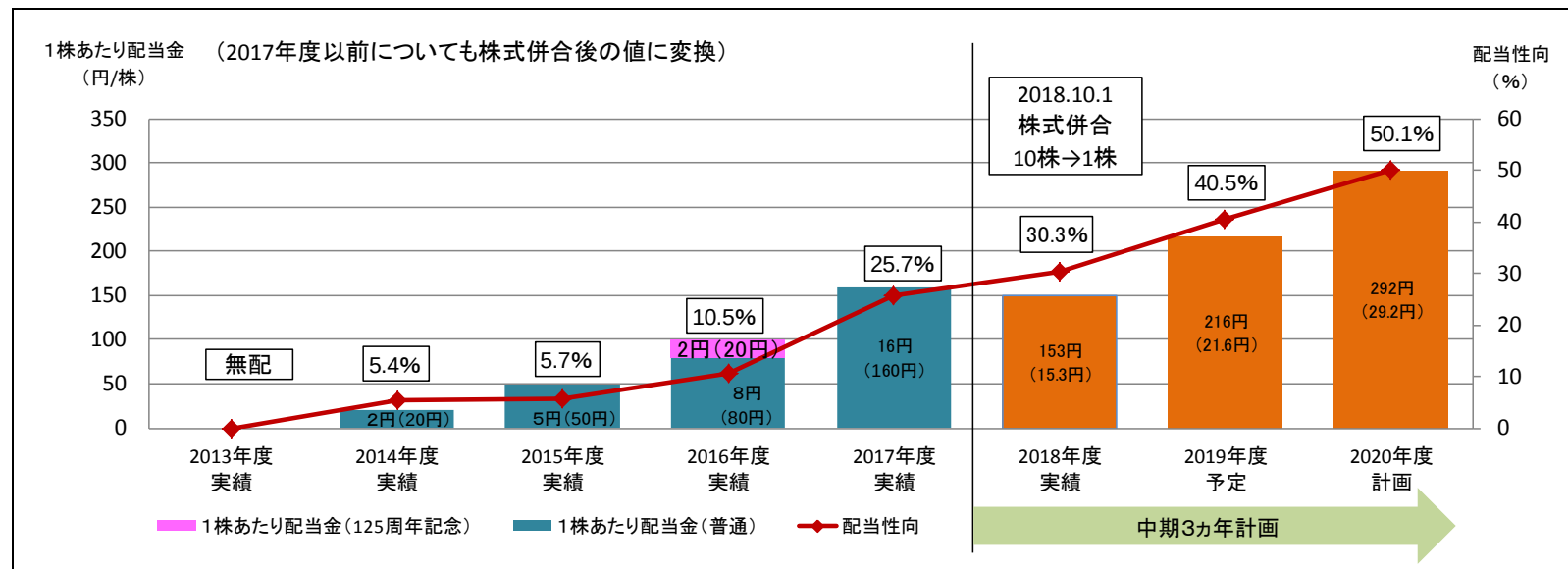
◆協力会社との連携強化を目的とした支払いの現金化

現 金 比 率 向 上	・2018年 8 月支払いより現金支払い比率を90%まで拡大 ・2020年1月支払いより100%現金支払い
-------------	---

株主還元 配当性向計画（2019/5/10修正後）



配当金 推移



自己株式取得、消却について

取 得 内 容	- 取得し得る株式の総数 330,000株（上限） - 株式の取得価額の総額 1,000,000,000円（上限）
取 得 結 果	- 取得株式数 313,600株取得 - 取得価額 999,933,700円 - 取得期間 2018年11月12日 より 2019年1月16日
消 却 に つ い て	- 消却株数 430,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 5.05%) - 消却日 2019年5月31日 - 発行済株式総数 消却前 8,508,629株 消却後 8,078,629株

コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

取締役会の構成	・ 社外取締役の割合 1 / 3 (本年6月下旬開催予定の第85期定時株主総会后) ・ うち女性社外取締役 1名
監査役会の構成	・ 社外監査役の割合 過半数 (本年6月下旬開催予定の第85期定時株主総会后)
取締役会の実効性の 分析及び評価	・ 外部機関を活用し実施 (2019年度)
指名・報酬委員会の運営	・ 両委員会の委員長 社外取締役 ・ 社外取締役の割合 過半数 ・ 開催日数 (2018年度 7回、2019年度 9回)
I Rの強化	・ 機関投資家向け説明会 (年2回実施) ・ 個人投資家向け説明会 (本年2月に初めて開催し、今後年2回実施予定)
保有株式について	・ 上場株式の保有適否判断基準 配当と工事粗利益の便益が以下を下回る場合に縮減 2019年3月期末まで 当該期末の「資本コスト (WACC)」 2020年3月期末以後 当該期末の「株主資本コスト」 (参考 2019年3月末: 全体利回り 14% > 資本コスト 5% 2020年3月末: 全体利回り 16% > 株主資本コスト 8%) ・ 売却実績 2018年度 10億円 2019年度 1.4億円 ★政策保有株式の残高を2022年3月期末までに連結純資産の10%未満に

浅沼組 社会貢献基本方針

私たちは、社会の一員として社会のあるべきかたちの実現のため、社員一人一人が社会的責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進していきます。

2019/ 4 以降の協賛団体の活動報告

日本身体障害者野球連盟 全国大会 11/2・3



日本ブラインドテニス連盟 スペイン国際大会 6/9

大野選手
B1クラス男子の部優勝
大会MVP

ならどっとFM 番組 「岡本彰夫の 奈良 奥の奥」 公開収録の様子 11/23



2019/4以降の主な活動



建築学生ワークショップ協賛・協力

建築や環境、デザインを専攻する学生を対象にした地域滞在型ワークショップへの協賛と講師の派遣を2016/9から継続しています。

写真は出雲で開催されたときの様子です。



株式会社南都銀行のSDGs私募債を通じ
奈良県立郡山高校にエアコンを寄付



株式会社りそな銀行の「SDGs推進私募債」を通じ
独立行政法人国際協力機構（JICA）様へ寄附

浅沼組の最近のトピックスをご紹介します。

- 2019/8/1 技術発表会を開催
- 2019/10/30 作業所生産性向上策発表会を開催
- 2020/2/21 VRを用いた体験型現場教育システムの開発



技術発表会

浅沼組は1日、東京本店をメイン会場に全国7本支店をテレビ会議システムでつなぎ、2019年度技術発表会を開いた。全店で約280人の社員が参加した。全日本建設技術協会の大石久和会長が「インフラが切り開く未来 経済成長なくして財政再建なし」と題して特別講演したほか、社員投票と審査で選ばれた発表者が施工技術・開発に関するテーマで発表し、参加者と発表者は活発に質疑を交わした。

冒頭、あいさつに立った浅沼誠社長は「浅沼組の社員として誇りをもって仕事をしたい。その誇りを支える大きな柱は技術へのこだわりだ。技術発表会は『浅沼組らしい技術へのこだわり』を共有し、誇りを確かめ合う場だと考えている。第12回となるこの技術発表会を通じて誇りとなる浅沼組らしい技術を見て、浅沼組で良かった」と言っており、浅沼組で良いモノづくりをみ込んで進めようと呼び掛けた。写真発表発表は次のとおり。

〈社長賞〉コンクリート床のひび割れ対策。

〈優秀賞〉ジャッキアップ量を最小限にした免震装置交換工事。超高層物件における「雨仕舞い技術」への取組み。VJS（上成）工法による床コンクリート押えの取組み。西名阪自動車道連続8日間通行止め3班体制による背面空洞注入の施工について。

2019/8/23付 日刊建設通信新聞



作業工程3D映像化

現場教育にリアリティー

浅沼組は、3DモデルやVR（仮想現実）を用いた体験型現場教育システムを開発した。作業工程を3D映像化し、建設の流れを容易につかむことが可能。入社1、2年目の社員を対象に、S造の研究開発施設などの施工工程をVRで体験してもらい、より現実に近い形で品質管理や安全管理の基本を学ぶことができる。クイズ形式の演習と解説を取り入れており、品質と安全管理などの知識を学習できる。隠れた危険や品質のチェック項目の見え方も可能となり、品質や安全管理などが高まるとみている。

浅沼組

る。インターンシップ（就業体験）や内定者説明会でも活用している。

今後は、習得度合いによって現場が切り替わる機能の追加や、eラーニングなどにも対応できるようにしていく予定。同業他社との連携も検討するという。

同システムは、施工工程を映像化することも可能。技術研究所の増築時の流れを3D映像化しており、研修に利用している。今後は、土木工事などにも対応していく予定。

中期3カ年計画で掲げている「ICT（情報通信技術）活用による生産性向上」などの一環となる。

2020/2/21付 日刊建設工業新聞

協働の成果披露

浅沼組が初の作業所生産性向上策表彰式

浅沼組は10月30日、「第1回協力会社様協働による作業所生産性向上策表彰式・発表会」を大阪本店（大阪市）で開いた。大阪本店のほか東京本店と東北・北海道・広島・九州・名古屋の5支店ともテレビ会議でつなぎ、計200人が参加した。

同社作業所で実践された生産性向上策の中から社員投票



などの審査を経て選出された社長賞と優秀賞計4件が表彰を受けた。式に先立ち浅沼誠社長は「作業所の生産性向上には、協力会社との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取り組みを情報収集し、水平展開することが有効だ。今回の発表内容に刺激を受けることで、ともに作業所で働く協力会社の皆さんと知恵を出し合い、さらに多くの生産性向上策が集まることを願っている」とあいさつした。

表彰式の後には受賞事例の発表も行われ、活発な質疑応答があった。4件の発表は次のとおり。

〈社長賞〉

▽梁型枠ユニット化による工期短縮（仮称）天王寺区東高津町計画新築工事作業所と第五建設（優秀賞）

▽残存支柱工法を活用することによって梁の型枠工事に部材のハリホルダーを使わずに、部材のタワール・ザ・ファースト名古屋栄作業所と吉重組

▽路上駐車場防水抑さえコンクリートのワイヤーメッシュ配筋にかわるバルトップ採用による省人化・省力化（仮称）DPL川口領家新築工事作業所と飛田鉄防工業

▽トンネル補修工事における3Dスキャナーデータを用いた現状把握（西名阪自動車道田尻トンネル（上り線）他3トンネル背面空洞注入工事作業所とケー・エフ・シー）

2019/11/8付 日刊建設通信新聞

The logo for Asanuma, featuring a stylized blue 'A' with a red dot above it.

株式会社 浅沼組

2020年5月

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



お問合せ先

コーポレート・コミュニケーション部

T e l 06-6585-5500 F a x 06-6585-5556